

漢語のアクセントの現況

～変化の「背景」を探る～

メディア研究部 塩田雄大

『NHK 日本語発音アクセント新辞典』(2016年5月発行)への改訂作業では、アナウンサーを対象とした調査の結果を、最も重要な判断基準とした。この稿では、一連の調査のうち、音声聴取式の「第2回調査」で実施した質問項目の中の「漢語」(1,042項目)について取り上げる。

漢語のアクセントは、その語の音韻構造の違いによって、ある程度の傾向が見られる。これまでの先行研究と今回の調査結果から、次のようなことを指摘する。

▼【二字漢語】

▽1拍+1拍[○+○]:全体として頭高型を指向しており、またその傾向を強めつつある。

▽2拍+1拍[○○+○]:全体として頭高型を指向しているが、アクセントの変化が進行中の語には頭高に向かうものと平板に向かうものがあり、総体としての把握が困難である。

▽1拍+2拍[○+○○]:全体として平板型を指向しているが、アクセントの変化が進行中の語には頭高に向かうものと平板に向かうものがあり、総体としての把握が困難である。

▽2拍+2拍[○○+○○]:全体として平板型を指向しているが、アクセントの変化が進行中の語には頭高に向かうものと平板に向かうものがある。ただし若年層では平板型の支持率が高い語群があり、総体としてはゆるやかに平板化しつつある。

▼【三字漢語】

もともとは起伏式のものが多かったのだが、一部の語に平板化の動きがある。

はじめに

一般にはあまりなじみがなく、『NHK 日本語発音アクセント新辞典』(以下『SJT』)にも収録していないことばだが、「装荷(そうか)」という漢語がある。これは、「①通信回線で、電流波形のくずれを防ぐため、一定間隔でコイルを直列に挿入すること。②原子力発電所に核燃料を配備すること。」(松井栄一編(2005)『小学館日本語新辞典』)という意味の語である。この「装荷」ということばをこれまで音声で聴いたことのない人が読む場合に、アクセントは、平板型[ソーカ]と頭高型[ソ\ーカ]の、どちらになるであろうか¹⁾。

ある漢語のアクセントがどのようなものかは、その漢語がどんな音韻構造になっているのかによって、ある程度の傾向が見られる。たとえば『SJT』では、二字漢語に関して下記のように示している。

それぞれ、次のようなアクセントになる傾向がある。

a. 二字漢語 (1拍+1拍)

⇒頭高型

《例》[シュ\ミ](趣味), [ト\ショ](図書),
[バ\シャ](馬車), … (他例略)

b. 二字漢語 (2拍+1拍)

⇒名詞的意味の場合、頭高型

《例》[コ\クド](国土), [ス\ーチ](数値),
[ハ\クシ](博士), … (他例略)

⇒動詞的意味の場合、平板型も少なくない

《例》[インシュ―] (飲酒),
[カイシ―] (開始),
[ショクジ―] (食事), ...

c. 二字漢語 (1拍+2拍)

⇒平板型

《例》[キボー―] (希望),
[シュザン―] (珠算),
[チリョー―] (治療), ...

d. 二字漢語 (2拍+2拍)

⇒平板型

《例》[アイケン―] (愛犬),
[ガ[○]シュ―] (学習),
[スイエー―] (水泳), ...

(『SJT』巻末pp. [15] - [16])

ザイセー (財政)

ヘーワ (平和)

メーボ (名簿)

他にテツガク (哲学) というのもあった (これは一回限り)。

候補者の出身地とは関係がないように思われる。同一人でも、最初に発音する時や、強調の際にこういう型が多くあらわれるようだ。今回に限らず政治討論会などでもよく耳にする。一種の強調のためのアクセントなのだろうが、構えのアクセント、あるいは政治にかかわる人のアクセントとも言えるようだ。

(柄沢衛 (1983))

しかしこれはあくまで「傾向」にすぎず、これに当てはまらない例は数多く存在する。たとえば近年、次のようなアクセントの変化が進行している。「審判・背景・学童・全員」はいずれも「二字漢語 (2拍+2拍)」であり、上に示したとおり音韻構造上の傾向としては平板型が多いタイプである。

	伝統形	革新形
「審判」	シンパン―	シ\ンパン
「背景」	ハイケー―	ハ\イケー
「学童」	ガクドー―	ガク\ドー
「全員」	ゼンイン―	ゼンイ\ン

さらに、「政治」にかかわる人の発することばには、一般の人に比べて「頭高型」が多いということが、以前から指摘されている。こうしたもののほとんどは、漢語である。

テレビの候補者の演説の中に、次のような一連の頭高アクセントのことばが聞かれる。

セージ (政治)
ジョーサー (情勢)

これら以外にも、一般的には平板型で発音されることの多い漢語が、政治にかかわる人からは特に頭高型で発音される傾向の強い例として、「解決、教育、講和、告知、国会、雇用、採択、市政、指導、製品、通過、通信、判決、風化、弁論」などを挙げることができるだろう。

同様の指摘として、NHKアナウンサーへの調査 (1996・1997年) の結果から「「予算・支援・採決・債権」など政治、経済のニュースなどでよく使われる語に、頭高型のアクセントが増えている」ことが指摘されている (坂本充 (1998))。また、秋永一枝編 (2001) 『新明解日本語アクセント辞典』の「東京アクセントの習得法則」では、(漢語のアクセントという限定は示されていないものの) 4拍の省略語に関して、原則として平板型だが「政治家・労働組合用語からきたものには、強めによってできた頭高型がみられる」ことを記し、その例として「春闘」の頭高型を掲げている (なおこの指摘は、旧版に該当する秋永一枝編 (1981) 『明解日本語アクセント辞典 第二版』には見えない)。

この稿では、NHKアナウンサーへのアクセント調査（第2回）²⁾の結果を概観して、変化しつつある漢語アクセントの一端を描出し、またそれらの結果をどのように『SJT』に反映させたのかを、示してゆく。今回の改訂作業でアクセントを変更した漢語には、アクセント調査（第3回）の結果に基づくものも多数あるが、紙幅の関係上、やむなく割愛する（つまり、ここで示した漢語アクセントの変更例が、“『98年版』から改訂したもの全例”というわけではない）。

本稿で用いていることば・記号を、いくつか説明しておく。

▼ 起伏式・平板式：

音調の急激な“下がり目”が、語の中のどこかにあるものは「起伏式」、どこにもないものは「平板式」である。

▼ 頭高型・中高型・尾高型・平板型：

「起伏式」のうち、その語の1拍めのあとに“下がり目”があるのが「頭高型」、語の最後の拍のあとに“下がり目”があるもの（そのあとに助詞を付けたときに顕在化する）のが「尾高型」、それ以外の位置（語中）に“下がり目”があるものが「中高型」である。なお、これらのものと対比する際に「平板型」という言い方をする。

▼ ◎, ①, ②, ③, …：

それぞれ、語頭から数えた“下がり目”の位置を示す。◎は平板型 [= “下がり目”がない]、①は「1拍めのあと」、②は「2拍めのあと」に“下がり目”がある。

▼ 『SJT』、『98年版』：

それぞれ『NHK日本語発音アクセント新辞典』（2016年）、『NHK日本語発音アクセント辞典 新版』（1998年）の略称として示す。

▼ ㇿ, ㇻ, ㇼなど：

母音の無声化を示す。

1. 漢語のアクセントに関する先行研究

三宅武郎（1941）では、「消化する・依頼する・放送する」などの「二字漢語+する」のアクセントの傾向を検討している。まとめると、おおむね次のようなことを記している。

〔○+○〕する：一般に頭高型

例 維持, 許可

〔○○+○〕する：語による

例 （平板）出火, 消化
（頭高）審議, 勝負

〔○+○○〕する：一般に平板型

例 希望, 自殺, 離婚
ただし少数の頭高型があり、そのほとんどは明治期よりも前から使われていた漢語

例 所望, 自害, 離縁, 意見,
我慢, 寄進, 祈願, 苦勞,
苦心

〔○○+○○〕する：一般に平板型

例 放送, 研究, 対審
ただし少数の起伏式があり、そのほとんどは明治期よりも前から使われていた漢語

例 （頭高）安産, 奉公, 介錯,
解釈
（中高）悪口, 案内, 学問

また、金田一春彦（1943）で示されている内容をまとめると、次のようになる（なお、この指摘は秋永一枝編（1981）『明解日本語アクセント辞典 第二版』および秋永一枝編（2001）『新明解日本語アクセント辞典』の「東京アクセントの習得法則」の記述にも影響を与えた（秋永一枝（2010）））。

3拍の漢語では、名詞的な意味のものは頭高型を、動詞的な意味のものは平板型を指向する傾向がある。

(頭高) 聖旨, 生死, 青史, 正史, 西施, 聖志,
世子, 精子, 姓氏, 誓詞, 誓紙, 制詞
(平板) 制止, 製紙, 製糸, 正視, 静視

4拍の漢語では、4拍めが「キ・ク・チ・ツ」などの場合は、頭高型が比較的多い。

例 混雑, 淡泊

戦後の研究では、神保格・常深千里(1932)『国語発音アクセント辞典』から漢語[1拍](92項目)・漢語[2拍](976項目)・漢語[3拍](3,773項目)を拾い出し、それらを京都方言でのアクセントと対照した奥村三雄(1961)が異彩を放つ。それぞれの漢語のアクセント型の決定を左右する要因には、(a) 伝統的な型の継承, (b) 音韻構造上の基本型, (c) 各語の性質([c-1] その語の使用頻度, [c-2] 音韻構造, [c-3] 文法的職能), などが挙げられるという趣旨のことを指摘している。

これ以外にも、3拍漢語に関する過去のアクセント辞典の掲載比較から「頭高化したものは〔〇〇+〇〕の構造を、平板化したものは〔〇+〇〇〕の構造をもつものが多い」「例外的な変化をしたものは使用頻度の高い語が多い」旨を指摘した三井はるみ(1986), NHKアナウンサーへのアクセント調査の結果のうち漢語に限定して分析した坂本充(1998), 漢語のアクセントに関して「モーラ」ではなく「漢字の字数」を単位としてカウント・分類することによって全体のモデルの単純化を目指した胡世光(1998)などがある。またOGAWA(2004)(2008)・小川晋史(2010)では、二字漢語のアクセントの傾向として秋永一枝編(2001)『新明解日本

語アクセント辞典』に示されている「名詞的な意味をもつ語は頭高型に、動詞的な意味をもつ語は平板型に」などの諸特徴を、杉藤美代子(1996)『大阪・東京アクセント音声辞典CD-ROM』を用いて計量的に実証している(なお、この音声辞典の見出し語は日本放送協会編(1985)『日本語発音アクセント辞典 改訂新版』に基づいている(小川晋史(2010)))。

坂本充(1999)では、1998年の『NHK日本語発音アクセント辞典 新版』(以下『98年版』)に掲載されている漢語(アクセント型の数で35,376型)を取り上げている。ここに掲げられたデータの一部を再整理すると、下記のように述べることができる。

一字漢語・二字漢語のアクセント

※単位は、掲載しているアクセント型の数

- ▼ 一字漢語 (1拍) 総計167型
⇒このうち頭高型 (125型) が最も多い
- ▼ 一字漢語 (2拍) 総計666型
⇒このうち頭高型 (523型) が最も多い
- ▼ 二字漢語 (2拍) 総計1,065型
⇒このうち頭高型 (875型) が最も多い
- ▼ 二字漢語 (3拍) 総計9,038型
⇒平板型 (4,623型) と頭高型 (4,036型) が同程度に多い
- ▼ 二字漢語 (4拍) 総計13,899型
⇒このうち平板型 (11,735型) が最も多い
(坂本充 (1999) のデータを整理)

また、二字漢語[3拍](9,038型)の内訳として、表1のような集計結果を示している。〔〇+〇〕の型では頭高型が、〔〇+〇〇〕の型では平板型が主流である。二字漢語[4拍](13,899項目)については、平板型が84.4%(11,735項目)を占めていた。

表1 『98年版』における二字漢語（3拍）のアクセント型分布

※単位は、掲載しているアクセント型の数

	〔○○+○〕	〔○+○○〕
頭高型	3,050 (66.7%)	986 (22.1%)
平板型	1,347 (29.5%)	3,276 (73.4%)
中高型	98 (2.1%)	196 (4.4%)
尾高型	78 (1.7%)	7 (0.2%)
計	4,573	4,465

(坂本充 (1999) のデータを整理)

2. 第2回調査の結果から

第2回調査（全3,021項目調査）で尋ねた項目のうち、漢語は1,042項目である。それぞれの項目に関して2つ以上のアクセント型を提示して尋ねており、設問数としては2,183問になっている。このうち、本稿では紙幅の関係から、一字漢語・二字漢語・三字漢語の結果を概観する。四字以上の漢語については、別の機会に論じることしたい。

2.1 一字漢語（2拍）

第2回調査で調査対象となった一字漢語（2拍）は、12項目である（なお、一字漢語（1拍）は調査対象の中には含まれていない）。結果

を表2にまとめた。それぞれの項目に関して、平板型と頭高型について尋ねたものや、頭高型と尾高型について尋ねたものなどがある。すべての項目をここに示す余裕がないため、辞典の改訂作業として実際にアクセント型の記述を変更した項目のみを、実例として表中に示した。ただし、それぞれの平均支持率は、すべての項目を対象にして算出したものである。

一字漢語（2拍）のうち、設問として平板型を尋ねたものは10件で、平均支持率が77%である。同様に、頭高型を尋ねたものは10件で平均支持率45%、尾高型を尋ねたものは4件で69%である。つまり、調査項目として取り上げたものの中では、平板型の平均支持率が高い。

一方、さきほど坂本充（1999）のデータを整理して掲げたとおり、一字漢語（2拍）総体として最も典型的なアクセント型は、頭高型である。

つまり、次のように述べることができる。

▼ 一字漢語（2拍）：
総体としては頭高型が典型的
⇔ 調査対象項目では平板型が優勢

表2 一字漢語（2拍）：12項目

	字数	拍構造	平板型 設問数	平板型 支持率	頭高型 設問数	頭高型 支持率	【平板型 支持率- 頭高型 支持率】	尾高型 設問数	尾高型 支持率	『SJT』	『98年版』	『SJT』での 平板型の 扱い (『98年版』と比べて)	『SJT』での 頭高型の 扱い (『98年版』と比べて) × = 削除, ↘ = 降格
全体	1	○○	10	77	10	45		4	69				
改訂	念(をを入れる)	ネン		100		16	84			◎	①、◎	昇格	×
	能(能楽用語)	ノー		100		16	84			◎、①	①、◎	昇格	↘
	禪	ゼン		96		52	44			◎、①	①、◎	昇格	↘
	寒(かん)	カン		84		44	40			◎、①	①、◎	昇格	↘
	盆(7月または8月)	ボン		79		50	29			◎、①	①	追加(第1アク)	↘
	菊	キク		57				87		②、◎	②	追加(第2アク)	
	鉢	ハチ		48				91		②、◎	②	追加(第2アク)	
	臈	ラツ				91		18		①、②	②、①		昇格
	略	リャク				33		79		②、①	①、②		↘

※ 斜体は設問数(以下同)

あわせて表2を細かく見てみると、「『SJT』での平板型の扱い」の欄に示したとおり、『98年版』から『SJT』への改訂作業として、「念、能、禪、寒」については平板型の地位を昇格、「盆、菊、鉢」については『98年版』には示していなかった平板型を追加している。アクセント型の変更を施した9項目のうち、頭高型よりも平板型を優先するタイプのものが7項目を占めており、平板化の優勢が確認できる。

つまり、一字漢語（2拍）の調査対象語では、総体としての典型的な型〔＝頭高型〕から離れるような「平板化」の動きを見せており、「例外が増えつつある」〔＝規則性の弱化〕のだと言えよう。

2.2 二字漢語

2.2.1 二字漢語（2拍）

表3では、「自費、護摩」では平板型が優位であるが、「義手、慈悲、墓碑、枸杞、首尾」では頭高型が優位になっている。平均支持率を見ても58%（平板型）対82%（頭高型）

と、調査項目内での頭高の優勢が目につく。

一方、さきほど示したとおり、総体として二字漢語（2拍）で典型的な型は頭高型である。

また「皮下、避暑、不死、汽車、地価、起訴、手記、秘書」では、母音が無声化する位置の直後に「下がり目」が来る形、つまりここでは頭高型が優位になっている。「母音の無声化によって“下がり目”の位置がずれる」という現象が、次第に絶対的なものではなくなりつつあることの一端を示している。

まとめると、次のように述べることができる。

▼ 二字漢語（2拍）：

- (a) 総体としては頭高型が典型的
⇔ 調査対象項目でも頭高型が優勢
- (b) 調査対象項目では、無声化拍の直後に「下がり目」がくるものも多い

二字漢語（2拍）では、「総体としては頭高型が典型的」という傾向をさらに強める形〔＝規則性の強化〕で、変化が進んでいるようである。

表3 二字漢語〔○+○〕：28項目

	字数	拍構造	平板型 設問数	平板型 支持率	頭高型 設問数	頭高型 支持率	【平板型 支持率－ 頭高型 支持率】 “▲”は マイナス	尾高型 設問数	尾高型 支持率	『SJT』	『98年版』	『SJT』での 平板型の 扱い (『98年版』と比べて) ×＝削除、 ↘＝降格	『SJT』での 頭高型の 扱い (『98年版』と比べて) ×＝削除、 ↘＝降格
全体	2	○+○	12	58	27	82		17	38				
改訂	自費	ジヒ		100		16	84			◎	◎、①		×
	護摩	ゴマ		86		48	38			◎、①	①、◎	昇格	↘
	義手	ギシュ		59		91	▲32			①、◎	◎、①	↘	昇格
	慈悲	ジヒ		50		92	▲42			①、◎	◎、①	↘	昇格
	墓碑	ボヒ		35		96	▲61			①、◎	◎、①	↘	昇格
	枸杞	ココ		13		74	▲61			①、◎	◎、①	↘	昇格
	首尾	シュビ		0		96	▲96			①	①、◎	×	
	皮下	ヒカ				79			38	①、②	②、①		昇格
	避暑	ヒショ～ヒショ				88			48	①、②	②、①		昇格
	不死	フシ～フシ				88			21	①、②	②、①		昇格
	汽車	キシャ				92			38	①、②	②、①		昇格
	地価	チカ				96			48	①、②	②、①		昇格
	起訴	キソ				100			23	①	①、②		
	手記	テキ				100			25	①	①、②		
	秘書	ヒショ～ヒショ				100			9	①、②	②、①		昇格
	所作	ショサ				100			8	①、②	②、①		昇格

2.2.2 二字漢語（2拍+1拍）

表4では、平板型の平均支持率が64%、頭高型の平均支持率が67%と、ほぼ同程度である。

一方、二字漢語（2拍+1拍）の典型的な型は頭高型であることをさきほど見た。

次のように述べることができる。

▼ 二字漢語（2拍+1拍）：
 総体としては頭高型が典型的
 ⇔ 調査対象項目では平板型・頭高型が同程度

表4 二字漢語〔○○+○〕：180項目

	字数	拍構造	平板型 設問数	平板型 支持率	頭高型 設問数	頭高型 支持率	【平板型 支持率－ 頭高型 支持率】 ▲は マイナス	中高型 設問数	中高型 支持率	尾高型 設問数	尾高型 支持率	【SJT】	【98年版】	【SJT】での 平板型の 扱い (【98年版】と比べて) × = 削除, ㇿ = 降格	【SJT】での 頭高型の 扱い (【98年版】と比べて) × = 削除, ㇿ = 降格	
全体	2	○○+○	163	64	170	67		19	57	15	38					
改訂	公示	コージ		100		0	100					◎	◎,①		×	
	今後	コンゴ*		100		0	100					◎	◎,①		×	
	正座	セーザ		100		0	100					◎	◎,①		×	
	低下	テーカ		100		0	100					◎	◎,①		×	
	熱気	ネッキ		100		0	100					◎	◎,①		×	
	酸味	サンミ		100		4	96			54	◎,③	①,◎,(③)	昇格		×	
	細工	サイク		100		4	96			35	◎,③	③,◎	昇格			
	金利	キンリ		100		4	96					◎	◎,①		×	
	作家	サッカ		100		4	96					◎	◎,①		×	
	発揮	ハッキ		96		0	96					◎	◎,①		×	
	合意	ゴーイ		100		8	92					◎	①,◎	昇格		×
	内科	ナイカ		100		9	91					◎	◎,①		×	
	代謝	タイシャ		100		9	91					◎	①,◎	昇格		×
	眼科	ガンカ		100		12	88					◎	◎,①		×	
	団地	ダンチ		100		13	87					◎	◎,①		×	
	応募	オーボ		100		16	84					◎	①,◎	昇格		×
	職種	ショㇿシュ		100		21	79					◎	①,◎	昇格		×
	明示	メージ		96		17	79					◎	①,◎	昇格		×
	公募	コーボ		100		25	75					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	換気	カンキ		96		21	75					◎	◎,①			×
	分岐	ブンキ		96		24	72					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	滑車	カッシャ		100		29	71					◎	◎,①			×
	送付	ソーフ		100		29	71					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	生後	セーゴ*		100		32	68					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	開花	カイカ		96		30	66					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	浄化	ジョーカ		96		32	64					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	正気	ショーキ		95		33	62					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	交付	コーフ		100		39	61					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	軟派	ナンパ		96		35	61					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	公布	コーフ		100		40	60					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	香味	コーミ		88		38	50				75	③,◎,①	①,③	追加(第2アク)		ㇿ
	経由	ケーユ		90		43	47					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	年次	ネンジ		96		52	44					◎,①	①	追加(第1アク)		ㇿ
	駅舎	エㇿシャ		100		67	33					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	香炉	コーロ		100		68	32					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	返書	ヘンショ		75		46	29					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	中古(の車)	チューコ		83		55	28					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	屯所	トンショ		61		35	26					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	行者	ギョージャ		79		54	25				17	◎,①,③	③,◎,(①)	昇格		昇格
	給付	キューフ		87		65	22					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	降下	コーカ		91		70	21					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	玉露	ギョクロ		86		68	18					◎,①	①,◎	昇格		ㇿ
	高座(芸能用語)	コーザ		65		52	13					①,◎	①	追加(第2アク)		

先駆	センク	72	60	12		①, ②	①	追加(第2アク)	
牧地	ボクチ	75	63	12		①, ②	①	追加(第2アク)	
催事	サイジ	88	76	12		①, ②	①	追加(第2アク)	
転記	テンキ	60	56	4		②, ①	②		追加(第2アク)
外耳	ガイジ	82	82	0		①, ②	①	追加(第2アク)	
長者	チョージャ	65	78	▲13	9	②, ①, ③	③, ②, ①	昇格	昇格
還付	カンブ	68	82	▲14		①, ②	①	追加(第2アク)	
乾布	カンブ	73	91	▲18		①, ②	①	追加(第2アク)	
凝固	ギョーコ	52	72	▲20		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
菖蒲	ショーブ	63	83	▲20		①, ②	①	追加(第2アク)	
内規	ナイキ	58	92	▲34		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
蔑視	ベッシ	48	83	▲35		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
待避	タイヒ	48	88	▲40		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
安打	アング	45	86	▲41		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
安置	アンチ	58	100	▲42		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
竹馬	チクバ	57	100	▲43	70	①, ②, ③	②, ③	ㇿ	追加(第1アク)
魔炬	ハイロ	39	83	▲44		②, ①	②		追加(第2アク)
顕示	ケンジ	38	83	▲45		①, ②	②	ㇿ	追加(第1アク)
陳皮	チンビ	8	54	▲46		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
特価	トッカ	36	82	▲46		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
退避	タイヒ	52	100	▲48		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
代価	ダイカ	42	92	▲50		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
山地	サンチ	40	92	▲52		①, ②	①	追加(第2アク)	
随意	ズイ	42	96	▲54		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
満期	マンキ	32	88	▲56		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
報知	ホーチ	28	92	▲64		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
実母	ジツボ	35	100	▲65		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
特化	トッカ	29	95	▲66		①, ②	(立項なし)		
牧歌	ボッカ	29	96	▲67		①	②, ①	×	昇格
大火	タイカ	32	100	▲68		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
転居	テンキョ	32	100	▲68		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
喫茶	キッサ	23	96	▲73		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
注視	チューシ	26	100	▲74		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
認可	ニンカ	21	96	▲75		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
階下	カイカ	20	96	▲76		①	①, ②	×	
僅差	キンサ	23	100	▲77		①	②, ①	×	昇格
敵機	テッキ	17	96	▲79		①	①, ②	×	
特需	トクジュ	21	100	▲79		①	②, ①	×	昇格
日舞	ニチブ	13	96	▲83		①	②	×	追加(第1アク)
評議	ヒョーキ	8	92	▲84		①	②, ①	×	昇格
城下	ジョーカ	10	100	▲90		①	①, ②	×	
対価	タイカ	9	100	▲91		①	①, ②	×	
待機	タイキ	4	100	▲96		①	②, ①	×	昇格
恐怖	キョーフ	0	100	▲100		①	①, ②	×	
名所	メーショ	100			65	②, ③	③, ②	昇格	
大事	ダイジ	100			38	②, ③	③, ②	昇格	
行司	ギョージ	96			20	②, ③	③, ②	昇格	
食味	ショクミ	91			48	②, ③	③, ②	昇格	
内緒	ナイショ	91			39	②, ③	③, ②	昇格	
発句	ホック	79			13	②	③, ②	昇格	
在所	ザイショ	84			56	②, ③	③, ②	昇格	
祝賀	シユクカ	86			23	②, ②	②, ②	昇格	
興味	キョーミ		100		5	①	①, ③		
実意	ジツイ		87		17	①	②, ①		昇格
執事	シツジ		95		76	①, ②	②, ①		昇格
逐次	チクジ		100		79	①, ②	②, ①		昇格
淑女	シユクジョ		100		75	①, ②	②, ①		昇格
執務	シツム		100		71	①, ②	②, ①		昇格
腹部	フクブ		100		68	①, ②	②, ①		昇格
極意	ゴクイ		100		17	①	②, ①		昇格
国威	コクイ		100		9	①	①, ②		
悪意	アクイ		100		8	①	①, ②		
着衣	チャクイ		100		4	①	①, ②		
福祉	フクシ		100		96	②, ①	②		追加(第2アク)

ここから、この二字漢語（2拍＋1拍）では、平板型と頭高型の対立に関しては「大きな規則性の変化なし」という状態であると言える。

ただし、全体の状況はそう単純でもない。「名所、大事、行司、食味、内緒、発句、在所、興味」においては、【尾高型の衰退】が見られる。また、「祝賀、実意、執事、逐次、淑女、執務、腹部、極意、国威、悪意、着衣」では【中高型の衰退】が指摘できる。

つまり、全体としては次のようなことも指

摘できる。

▼二字漢語（2拍＋1拍）の調査対象項目：
尾高型・中高型が衰退し、平板型か頭高型のいずれかの型に収斂する中で、平板型を指向するものと頭高型を指向するものが、語ごとに異なる

2.2.3 二字漢語（1拍＋2拍）

表5では、平板型の平均支持率が69%、頭高型の平均支持率が65%と、ほぼ同程度である。

表5 二字漢語〔○＋○○〕：154項目

	字数	拍構造	平板型 設問数	平板型 支持率	頭高型 設問数	頭高型 支持率	【平板型 支持率－ 頭高型支 持率】 -▲は マイナス	中高型 設問数	中高型 支持率	尾高型 設問数	尾高型 支持率	『SJT』	『98年版』	『SJT』での 平板型の 扱い (『98年版』と比べて) ×＝削除 ㇿ＝降格	『SJT』での 頭高型の 扱い (『98年版』と比べて) ×＝削除 ㇿ＝降格
全体	2	○＋○○	126	69	142	65		53	56	1	17				
改訂	胃痛	イカ ^ん ン		100		0	100					○	○、①		×
	無難	ブナン		100		0	100					○	○、①		×
	阿吽	アウン		100		4	96					○	○、①		×
	遺憾	イカン		100		4	96					○	○、①		×
	美德	ビトク		100		9	91					○	○、①		×
	珠玉	シュキ ^ん ヨク		100		9	91					○	①、○	昇格	×
	非道	ヒドー		100		12	88					○	①、○	昇格	×
	羽毛	ウモウ		100		13	87					○	○、①		×
	未熟	ミジュク		100		13	87					○	○、①		×
	資質	シ ^し ツ		100		16	84					○	○、①		×
	遺恨	イコン		100		16	84					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	史跡	シセキ		100		17	83					○	○、①		×
	医局	イキョク		100		21	79					○	○、①		×
	価格	カカク		100		21	79					○	○、①		×
	邪悪	ジャアク		100		21	79					○	○、①		×
	起業	キキ ^ん ヨー		92		25	67					○	①、○	昇格	×
	愚息	グソク		87		26	61					○	○、①		×
	時勢	ジセー		96		39	57					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	被覆	ヒ ^ふ ク		92		40	52					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	右脳	ウノー		100		50	50					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	利便	リベン		88		38	50					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	菩薩	ボサツ		92		44	48					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	時局	ジキョク		96		50	46					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	詩編	シヘン		83		42	41					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	古木	コボク		87		48	39					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	涅槃	ネハン		83		46	37	13				○、①、②	①、○、②	昇格	ㇿ
	市制	シセイ		95		62	33					○、①	○		追加(第2アク)
	座長	ザチョー		100		70	30					○、①	○		追加(第2アク)
	奇縁	キエン		87		61	26					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	死力	シリョク		86		62	24					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	邪慳	ジャケン		88		64	24					①、○	①	追加(第2アク)	
	気団	キダン		77		55	22					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	資本	シホン		86		68	18					○、①	○		追加(第2アク)
	被服	ヒ ^ふ ク		80		64	16					○、①	①、○	昇格	ㇿ
	四面	シメン		72		60	12					①、○	①	追加(第2アク)	
	部局	ブキョク		80		84	▲4					①、○	①	追加(第2アク)	
	処断	ショダン		52		60	▲8					○、①	○		追加(第2アク)
	流罪	ルザイ		59		86	▲27					①、○	○、①	ㇿ	昇格

汚物	オブツ	54	92	▲38		①, ㊟	㊟, ①	ㄵ	昇格
私塾	シジュク	54	92	▲38		①, ㊟	㊟, ①	ㄵ	昇格
保育	ホイク	44	84	▲40		①, ㊟	㊟, ①	ㄵ	昇格
異性	イセー	44	96	▲52		①, ㊟	㊟, ①	ㄵ	昇格
司祭	シサイ	42	96	▲54	17	①, ㊟	㊟, ①, ②	ㄵ	昇格
区政	㊟セー	38	96	▲58		①, ㊟	㊟, ①	ㄵ	昇格
賜杯	シハイ	39	100	▲61		①, ㊟	㊟, ①	ㄵ	昇格
果報	カホー	28	96	▲68		①	①, ㊟	×	
首長	㊟チュー	28	96	▲68	88	②, ①	②, ㊟, ①	×	昇格
師弟	㊟テー	21	92	▲71	67	①, ②	②, ①		昇格
市政	シセー	28	100	▲72		①, ㊟	㊟	ㄵ	追加(第1アク)
火中	カチュー	21	96	▲75		①, ㊟	㊟, ①	ㄵ	昇格
婦警	㊟ケー	13	91	▲78	65	①, ②	㊟, ②	×	追加(第1アク)
奇跡	㊟セキ	17	96	▲79	67	②, ①, ㊟	㊟, ②	ㄵ	追加(第2アク)
市中	㊟チュー	20	100	▲80	80	①, ②	②, ㊟	×	追加(第1アク)
機会	㊟カイ	0	87	▲87	78	②, ①	②, ㊟	×	追加(第2アク)
斜面	シャメン	13	100	▲87		①	①, ㊟	×	
阿片	アヘン	9	100	▲91		①	①, ㊟	×	
過中	カチュー	8	100	▲92		①	㊟, ①	×	昇格
家宝	カホー	4	100	▲96		①	㊟, ①	×	昇格
医療	イリヨー	0	100	▲100		①	①, ㊟	×	
不快	㊟カイ	100			0	㊟	②, ㊟		昇格
奇っ怪	㊟ツカイ	100			32	㊟, ③	③, ㊟		昇格
土用	ドヨー	96			43	㊟, ②	②, ㊟		昇格
彼岸	ヒカ [*] ン	95			50	㊟, ②	②, ㊟		昇格
主客	㊟カク	88			8	㊟	②, ㊟		昇格
不敬	㊟ケー	79			58	②, ㊟	②		追加(第2アク)
喜色	㊟ショク	72			24	㊟, ②	②, ㊟		昇格
土曜	ドヨー	8			100	②	②, ㊟	×	
阿呆	アホー		13		88	②	②, ①		×
無礼	ブレー		63		83	②, ①	①, ②		ㄵ
機械	㊟カイ		64		91	②, ①	②		追加(第2アク)
布巾	㊟キン		75		88	②, ①	②		追加(第2アク)
貴公	㊟コー		88		63	①, ②	②, ①		昇格
頭巾	ズキン		91		52	①, ②	②		追加(第1アク)
世帯	セタイ		92		32	①, ②	②, ①		昇格
五角	ゴカク		92		17	①, ③	③		追加(第1アク)
夫妻	㊟サイ		96		42	①, ②	②, ①		昇格
不幸	㊟コー		96		100	②, ①	②		追加(第2アク)
府庁	㊟チョー		96		28	①, ②	②, ①		昇格
資金	㊟キン		100		80	①, ②	②, ①		昇格
府県	㊟ケン		100		70	①, ②	②, ①		昇格
区間	㊟カン		100		65	①, ②	②, ①		昇格
貴国	㊟コク		100		40	①, ②	②, ①		昇格

一方、二字漢語(1拍+2拍)全体としての典型的な型は平板型であることをさきほど見た。

次のように述べることができる。

▼ 二字漢語(1拍+2拍)：
 総体としては平板型が典型的
 ⇨ 調査対象項目では平板型・頭高型が同程度

ここから、この二字漢語(1拍+2拍)でも、平板型と頭高型の対立に関して「大きな規則性の変化なし」という状態であると言える。

また、【中高型の衰退】が見られるものも

いくつかあるが、このうち「司祭、不快、奇っ怪、主客、喜色、機械、布巾、貴公、夫妻、不幸、府庁、資金、府県、区間、貴国」については、「母音の無声化によって“下がり目”の位置がずれる」現象があまり起こらなくなってきたことによって【中高型の衰退】が引き起こされている。

2.2.4 二字漢語(2拍+2拍)

表6では、平板型の平均支持率が62%、頭高型の平均支持率が62%と、同程度である。

表6 二字漢語〔〇〇+〇〇〕：280項目

	字数	拍構造	平板型 設問数	平板型 支持率	頭高型 設問数	頭高型 支持率	【平板型 支持率- 頭高型 支持率】 ▲は マイナス	中 高 型 ② 設問数	中 高 型 ② 〇〇 支持率	中 高 型 ③ 設問数	中 高 型 ③ 〇〇〇 〇〇 支持率	尾高型 設問数	尾高型 支持率	【SJT】	【98年版】	【SJT】での 平板型の 扱い ([98年版]と 比べて) × = 削除, ㇿ = 降格	【SJT】での 頭高型の 扱い ([98年版]と 比べて) × = 削除, ㇿ = 降格
全体	2	〇〇+〇〇	259	62	197	62		41	60	66	54	15	62				
改訂																	
	芸術	ゲー・ジュツ		100		0	100							◎	◎、(①)		×
	戦国	センゴ・ク		100		0	100							◎	◎、①		×
	食欲	ドン・ヨク		100		0	100							◎	◎、①		×
	帝国	テ・コク		100		4	96							◎	◎、①		×
	心外	シンカ・イ		100		5	95							◎	◎、①		×
	人道	ジンドー		100		5	95							◎	①、◎	昇格	×
	芸当	ゲ・トー		92		4	88							◎、①	①	追加(第1アク)	ㇿ
	高慢	コ・マン		100		13	87							◎	◎、①		×
	全盛	ゼン・セー		100		13	87							◎	◎、①		×
	先達	セン・ダツ		100		21	79							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	精霊	ショ・リ・ヨー		79		8	71							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	性欲	セ・ヨク		91		22	69							◎	◎、①		×
	清音	セ・オン		96		28	68							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	寒行	カン・キ・ヨー		92		28	64							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	陰陽	イン・ヨー		92		29	63							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	沈香	ジン・コー		68		8	60							◎、①	①	追加(第1アク)	ㇿ
	半々	ハン・ハン		57		0	57				87			③、◎	③、①、◎	昇格	×
	甘草	カン・ゾー		65		9	56							◎、①	①	追加(第1アク)	ㇿ
	全便	ゼン・ビン		100		46	54							◎、①	(立項なし)		
	工法	コ・ホー		96		43	53							◎、①	①	追加(第1アク)	ㇿ
	良薬	リ・ヨー・ヤク		96		50	46							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	妙薬	ミ・ヨー・ヤク		95		55	40							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	権益	ケン・エキ		86		50	36							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	台帳	ダイ・チョー		86		57	29							◎、①	①	追加(第1アク)	ㇿ
	中略	チュ・リ・ヤク		77		50	27							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	各界	カ・カイ		83		58	25							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	胸腺	キョー・セン		78		57	21							◎、①	◎		追加(第2アク)
	両日	リョー・ジツ		92		71	21							①、◎	①	追加(第2アク)	
	強弁	キョー・ベン		73		55	18							◎、①	◎		追加(第2アク)
	近日	キン・ジツ		91		74	17							◎、①	①、◎	昇格	ㇿ
	底面	テ・メン		58		46	12				67			③、①	①、③		ㇿ
	風体	フ・タイ		68		56	12							①、◎	①	追加(第2アク)	
	信心	シン・ジン		71		67	4				54			③、①、◎	③、①	追加(第3アク)	
	大病	タイ・ビョー		78		74	4							①、◎	①	追加(第2アク)	
	胸郭	キョー・カク		75		75	0							◎、①	◎		追加(第2アク)
	遠近	エン・キン		88		88	0							◎、①	◎		追加(第2アク)
	農政	ノー・セー		79		83	▲4							◎、①	◎		追加(第2アク)
	靱帯	ジン・タイ		58		67	▲9							◎、①	◎		追加(第2アク)
	採択	サイ・タク		76		88	▲12							◎、①	◎		追加(第2アク)
	乳腺	ニョー・セン		78		91	▲13							◎、①	◎		追加(第2アク)
	選外	セン・カ・イ		50		71	▲21							①、◎	◎、①	ㇿ	昇格
	丹田	タン・デン		42		67	▲25							◎、①	◎		追加(第2アク)
	羊水	ヨース・イ		55		82	▲27							◎、①	◎		追加(第2アク)
	高低	コ・テー		50		77	▲27							①、◎	◎		追加(第1アク)
	全局	ゼン・キョク		63		92	▲29							①、◎	◎、①	ㇿ	昇格
	遊郭	ユ・カク		50		83	▲33							◎、①	◎		追加(第2アク)
	討伐	ト・バツ		42		79	▲37							◎、①	◎		追加(第2アク)
	結審	ケツ・シン		48		87	▲39							①、◎	◎、①	ㇿ	昇格
	審判	シン・パン		60		100	▲40							①、◎	◎、①	ㇿ	昇格
	財形	ザイ・ケー		48		91	▲43							①、◎	◎、①	ㇿ	昇格
	鉱石	コ・セキ		52		96	▲44							◎、①	◎		追加(第2アク)
	真宗	シン・シュ		29		75	▲46							①、◎	◎、①	ㇿ	昇格
	三景	サン・ケー		42		88	▲46							◎、①	◎		追加(第2アク)
	講釈	コウ・シャク		48		96	▲48				20	24		①、④	④、③、①		昇格
	原石	ゲン・セキ		48		96	▲48							①、◎	◎、①	ㇿ	昇格
	密教	ミツ・キョー		29		83	▲54							①	①、◎	×	

腰椎	ヨーツイ	42	96	▲ 54		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
本省 (中央機関)	ホンシヨウ	25	83	▲ 58		②	②, ①		×
全巻	ゼンカン	42	100	▲ 58		①, ②	②	ㇿ	追加(第1アク)
証券	シヨウケン	32	92	▲ 60		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
町村	チヨウソン	32	92	▲ 60		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
論点	ロンテン	33	100	▲ 67	42	①, ③, ④	③, ②, ①	ㇿ	昇格
論外	ロンカ°イ	32	100	▲ 68		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
風水	フースイ	25	96	▲ 71		①, ②	②	ㇿ	追加(第1アク)
岩塩	ガンエン	26	100	▲ 74		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
級長	キユーチャウ	18	95	▲ 77		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
賃貸	チンタイ	23	100	▲ 77		①	②	×	追加(第1アク)
点心	テンシン	20	100	▲ 80		①	②	×	追加(第1アク)
魂胆	コンタン	13	96	▲ 83	8	①	①, ③, (④)	×	
沸点	⑦ッテン	13	96	▲ 83		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
範疇	ハンチュウ	14	100	▲ 86		①, ②	②	ㇿ	追加(第1アク)
林業	リンキ°ヨウ	13	100	▲ 87		①	②, ①	×	昇格
胆石	タンセキ	8	96	▲ 88		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
代金	ダイキン	9	100	▲ 91		①	②, ①	×	昇格
嗅覚	キユーカク	4	96	▲ 92		①, ②	②, ①	ㇿ	昇格
新法	シンポフ	8	100	▲ 92		①	②	×	追加(第1アク)
前略	ゼンリヤク	8	100	▲ 92		①	①, ②	×	
半生	ハンセイ	8	100	▲ 92		①	①, ②	×	
甚平	ジンペイ	4	100	▲ 96		①	②, ①	×	昇格
隕石	インセキ	4	100	▲ 96		①	①, ②	×	
口論	コーロン	4	100	▲ 96		①	①, ②	×	
執念	シュネン	4	100	▲ 96		①	①, ②	×	
乾麺	カンメン	0	100	▲ 100		①	②, ①	×	昇格
緩急	カンキウ	0	100	▲ 100		①	①, ②	×	
争点	ソウテン	0	100	▲ 100		①	①, ②	×	
蛋白	タンパク	0	100	▲ 100		①	①, ②	×	
淡白	タンパク	0	100	▲ 100		①	①, ②	×	
一群	イチク°ン	100			25	②	②, ②		
悪霊	アクリョウ	100			12	②	②, ②		
結論	ケツロン	100			9	②	②, ②		
策略	サクリヤク	100			4	②	②, ②		
一員	イチイン	100			0	②	②, ②		
一軍	イチク°ン	100			0	②	②, ②		
引導	インドー	100			33	②, ③	③		追加(第1アク)
街道	カイドー	100			9	②	②, (③)		
短刀	タントー	100			8	②, ③	③		追加(第1アク)
芸風	ゲーフ	100			5	②	②, ③		
返答	ヘントー	96			33	②, ③	③, ②		昇格
印籠	インロウ	96			25	②, ③	③, ②		昇格
熱病	ネツビョウ	95			10	②	②, ②		
少量	シヨウリョウ	92			67	②, ③	③, ②		昇格
根源	コンケ°ン	92			50	②, ③	③, ②		昇格
一念	イチネン	91			61	②, ②	②, ②		昇格
毒液	ドクエキ	83			52	②, ②	②, ②		昇格
大勢	タイゼー	79			0	②, ③	③, ②		昇格
再現	サイケ°ン	78			78	②, ③	②		
同量	ドーリョウ	76			64	②, ③	②		
防風	ボーフー	71			58	③, ②	③		追加(第2アク)
雑巾	ゾーキン	68			73	②, ③	②		
吉日	⑧チニチ	68			27	②	②, ④		
劇物	ゲキブツ	63			96	②, ②	②	ㇿ	
証言	シヨウケ°ン	63			92	③, ②	②, ③	ㇿ	
脊椎	セ⑨ツイ	59			91	②, ③, ④	②, ②	ㇿ	
薬剤	ヤクザイ	52			91	②, ②	②, ②	ㇿ	
暴風	ボーフー	46			92	③, ②	③		追加(第2アク)
賞状	シヨウジョウ	46			88	③, ②	②, ③	ㇿ	
皇宮	コウク°ー	42			96	③, ②	②, ③	ㇿ	
学童	ガクドー	38			96	②, ②	②	ㇿ	
十月	ジュウカ°ツ	30			100	④	④, ②	×	
一難	イチナン	27			95	②, ②	②, ②	ㇿ	

一滴	イッテキ	25			96	④	④, ㊦	×
哲学	テツカク	22		96		②	②, ㊦	×
逐一	④クイチ	19		100		②	㊦, ②	×
白菜	ハクサイ	19		71	90	③, ②	③, ㊦	×
百日	ヒャクニチ	17		48	87	④, ②	④, ㊦	×
零点	レーテン	17		100		③	③, ㊦	×
毒物	ドクブツ	13		100		②	②, ㊦	×
一合	イチゴ	8		100	17	③, ②	③, ㊦	×
一畳	イチジョ	0		96	21	②, ③	③, ②	
別荘	ベッソー	0		100		③	③, (㊦)	×
教皇	キョーコー	17		83		③	③, ①	×
面相	メンソー	48		70		③, ①	①, ③	ㄣ
仏法	ブツポ	83		42		③, ①	③	追加(第2アク)
養生	ヨージョ	88		54		①, ③	③, ①	昇格
三畳	サンジョ	91		32		①, ③	③, ①	昇格
善哉	ゼンザイ	92		16		①, ③	③, ①	昇格
十両 (列車を数えるとき)	ジューリョ	92		8		①	③	追加(第1アク)
一銭	イッセン	100		38		①, ③	③	追加(第1アク)
十畳	ジュージョ	100		32		①, ③	③, ①	昇格
一貫 (数詞)	イッカン	100		26		③, ①	③	追加(第2アク)
川柳	センリョ	100		22		①	①, ③	
決心	ケッシン	100		5		①	①, ③	

一方、二字漢語(2拍+2拍)の典型的な型は平板型であることをさきほど見た。

次のように述べるができる。

▼ 二字漢語(2拍+2拍)：

総体としては平板型が典型的

⇔ 調査対象項目では平板型・頭高型が同程度

ここから、この二字漢語(2拍+2拍)では、平板型と頭高型の対立に関しては「大きな規則性の変化なし」という状態であると言える。

また、「一群、悪霊、結論、策略、一員、一軍、熱病、一念、毒液」では【中高型[○○\○○]の衰退】が、「引導、街道、短刀、芸風、返答、印籠、少量、根源、大勢、再現、同量、防風、雑巾、仏法、養生、三畳、善哉、十両(列車を数えるとき)、一銭、十畳、一貫(数詞)、川柳、決心」では【中高型[○○○\○]の衰退】が見られる。

語ごとの変化に関して述べると、本稿の

冒頭で示した「審判」の支持率は、伝統形の[シンパン]が60%、革新形の[シ\ンパン]が100%となり、辞典改訂にあたっては頭高型[シ\ンパン]の地位を第1アクセントに昇格させる形で変更した。

「学童」については、伝統形の[ガクドー]が38%、革新形の[ガク\ドー]が96%で、これまで掲載していなかった中高型[ガク\ドー]を、第1アクセントとして示した。

一方「背景」については、伝統形の[ハイケー]が96%、革新形の[ハ\イケー]が38%となった。また「全員」では、伝統形[ゼンイン]が96%、革新形の[ゼンイ\ン]が21%であった。この結果をもとに議論し、「お勧めするアクセント型として、あえて[ハ\イケー][ゼンイ\ン]を追加して示す必要もない」という結論に至った。

2.2.5 二字漢語と特殊拍・自立拍の関係

表7は、平板型と頭高型の両型を調査し

た項目を対象に、どちらのほうの支持率が高かったのかを基準として、字数・拍数別、そして含まれている特殊拍・自立拍の種類別に分け、整理したものである。

まず「1拍 + 1拍 [○ + ○]」では、【頭高優勢】の項目が多い。

「2拍 + 1拍 [○○ + ○]」では、2拍目が長音 [=「応募 [オーボ]」「行者 [ギョージャ]」など] のグループにおいて、【平板優勢】がより多い。

「1拍 + 2拍 [○ + ○○]」では、3拍目が撥音 [=「阿吽 [アウン]」「遺憾 [イカン]」など]

と、3拍目が自立拍 [=「医局 [イキョク]」「価格 [カカク]」など] のグループで、【平板優勢】がより多い。一方、3拍めが「い」 [=「異性」「機会」など] のグループでは、【頭高優勢】が多い。

「2拍 + 2拍 [○○ + ○○]」では、2拍めと4拍めの性質を基準として、それぞれ分類してみた。まず、2拍めが促音 [=「結審 [ケッシン]」「沸点 [フッテン]」など] と、2拍目が撥音 [=「隕石 [インセキ]」「緩急 [カンキュー]」など] の場合に、【頭高優勢】が多い。一方、2拍めが「い」 [=「芸術 [ゲージュツ]」「芸当 [ゲートー]」など] の場合には、【平板

表7 平板型と頭高型の支持率 (両型を調べた二字漢語のみ)

		平板型支持率 > 頭高型支持率 【平板優勢】	実例が 2倍以上	平板型支持率 < 頭高型支持率 【頭高優勢】
○ + ○		護摩, 自費 (2項目)	<	義手, 枸杞, 慈悲, 首尾, 墓碑 (5項目)
○○ + ○	2拍め促音	滑車, 作家, 熱気, 發揮 (4項目)		喫茶, 敵機, 特価, 特化, 蔑視, 牧歌 (6項目)
	2拍め撥音	眼科, 換気, 金利, 今後, 酸味, 先駆, 団地, 転記, 屯所, 軟派, 年次, 分歧, 返書 (13項目)		安打, 安置, 還付, 乾布, 僅差, 顕示, 山地, 陳皮, 転居, 認可, 満期 (11項目)
	2拍め長音	応募, 給付, 行者, 合意, 降下, 高座, 公示, 交付, 公布, 公募, 香味, 香炉, 浄化, 正気, 送付, 中古 (16項目)	>	凝固, 恐怖, 城下, 菖蒲, 注視, 長者, 評議, 報知 (8項目)
	2拍め「い」	開花, 経由, 細工, 催事, 生後, 正座, 代謝, 低下, 内科, 明示 (10項目)		階下, 随意, 大火, 対価, 代価, 待機, 待避, 退避, 内規, 魔炉 (10項目)
	2拍め自立拍	駅舎, 玉露, 職種, 牧地 (4項目)		実母, 竹馬, 特需, 日舞 (4項目)
○ + ○○	3拍め撥音	阿吽, 遺憾, 胃痛, 遺恨, 奇縁, 気団, 詩編, 資本, 四面, 邪慳, 涅槃, 無難, 利便 (13項目)	>	阿片, 斜面, 処断 (3項目)
	3拍め長音	右脳, 羽毛, 起業, 座長, 非道 (5項目)		医療, 火中, 渦中, 家宝, 果報, 市中, 首長 (7項目)
	3拍め「い」	市制, 時勢 (2項目)	<	異性, 機会, 区政, 司祭, 市政, 師弟, 賜杯, 婦警, 流罪 (9項目)
	3拍め自立拍	医局, 価格, 愚息, 古木, 時局, 資質, 史跡, 邪悪, 珠玉, 死力, 美德, 被服, 被覆, 菩薩, 未熟 (15項目)	>	汚物, 奇跡, 私塾, 部局, 保育 (5項目)
○○ + ○○	2拍め促音	(0項目)	<	結審, 沸点, 密教 (3項目)
	2拍め撥音	陰陽, 寒行, 甘草, 近日, 權益, 心外, 沈香, 信心, 入道, 戦国, 全盛, 先達, 全便, 貪欲, 半々 (15項目)		隕石, 岩塩, 緩急, 乾麵, 原石, 魂胆, 三景, 真宗, 審判, 甚平, 新法, 選外, 全巻, 全局, 前略, 胆石, 丹田, 淡白, 蛋白, 質貸, 点心, 半生, 範疇, 本省, 林業, 論外, 論点 (28項目)
	2拍め長音	胸腺, 強弁, 工法, 高慢, 精霊(しょうりょう), 中略, 風体, 妙薬, 両日, 良薬 (10項目)		嗅覚, 級長, 講釈, 鉦石, 高低, 口論, 執念, 証券, 争点, 町村, 討伐, 乳腺, 農政, 風水, 遊郭, 羊水, 腰椎 (17項目)
	2拍め「い」	芸術, 芸当, 清音, 性欲, 台帳, 大病, 帝国, 底面 (8項目)	>	財形, 採択, 代金 (3項目)
	2拍め自立拍	各界 (1項目)		(0項目)
	4拍め撥音	胸腺, 強弁, 高慢, 信心, 清音, 全便, 底面, 半々 (8項目)	<	岩塩, 乾麵, 結審, 口論, 魂胆, 執念, 証券, 審判, 全巻, 争点, 代金, 丹田, 町村, 点心, 乳腺, 沸点, 論点 (17項目)
	4拍め長音	陰陽, 寒行, 甘草, 芸当, 工法, 精霊(しょうりょう), 沈香, 入道, 台帳, 大病 (10項目)		緩急, 級長, 真宗, 新法, 範疇, 本省, 密教, 林業 (8項目)
	4拍め「い」	各界, 心外, 全盛, 風体 (4項目)	<	高低, 財形, 三景, 靱帯, 甚平, 選外, 質貸, 農政, 半生, 風水, 羊水, 腰椎, 論外 (13項目)
	4拍め自立拍	近日, 芸術, 權益, 性欲, 戦国, 先達, 中略, 帝国, 貪欲, 妙薬, 両日, 良薬 (12項目)		隕石, 嗅覚, 原石, 講釈, 鉦石, 採択, 全局, 前略, 胆石, 淡白, 蛋白, 討伐, 遊郭 (13項目)

※ 「えい」「けい」と書いて「エー」「ケー」と発音するものなどは、ひとまず二重母音の副音と分類して「い」とした。

優勢】が多い。

また、4拍めが撥音 [=「口論 [コーロン]」「執念 [シュエネン]」など] の場合と、4拍めが「い」 [=「財形 [ザイケー]」「三景 [サンケー]」など] の場合に、【頭高優勢】が多い。

2.3 三字漢語

2.3.1 三字漢語（三字めが1拍）

表 8 から、アクセント辞典の改訂作業とし

て平板型を追加，あるいは昇格させた項目と，その反対に削除・降格させた項目を拾って整理してみると，次のようになる。

平板型の追加・昇格 (14項目)

【～書】愛読書，規則書，古文書，始末書，趣意書

【～史】世界史，日本史

【その他】絵文字，気管支，現実味，御法度，得点差，人情味，不義理

表 8 三字漢語（三字めが1拍）：62 項目

	字数	拍構造	平板型 設問数	平板型 支持率	頭高型 設問数	頭高型 支持率	中高低 設問数	中高低 支持率	尾高型 設問数	尾高型 支持率	2単位形 設問数	2単位形 支持率	【SJT】	【98年版】	【SJT】での 平板型の 扱い (【98年版】と比べて) × = 削除 ▽ = 降格
全体	3	○+○+○	8	76	4	40	9	54	2	72					
改訂	不気味	ブキミ		96		4		4					◎	◎, ①, ②	
	駄菓子	ダカ [°] シ		32				92					②, ◎	◎, ②	▽
	不義理	フキ [°] リ		80		52		64		76			③, ◎, ①, ②	①, ③, ②, ◎	昇格
	絵文字	エモジ		77				36					②, ◎	②	追加(第2アク)
	趣意書	シュイショ		75				②46 ③67					③, ◎, ②	②, ③	追加(第2アク)
全体	3	○○+○+○	0		0		0		0						
全体	3	○+○○+○	10	65	0		②11 ③6	②78 ③66	2	82					
改訂	古文書	コモンジョ		92				②38					◎, ②	②, ◎	昇格
	世界史	セカイシ		91				②83					②, ◎	②	追加(第2アク)
	避難所	ヒナンジョ		88						83			◎, ④	◎	
	日本史	ニホンシ		79				②38					◎, ②	②, ◎	昇格
	始末書	シマ [°] シヨ		79				③33					◎, ④	③, ◎	昇格
	気管支	キ [°] カンシ		71				②71					②, ◎	②	追加(第2アク)
	規則書	キ [°] ソ [°] シヨ		64				③8		80			◎, ④	③, ◎, ④	昇格
	御法度	ゴハット		59				②68					②, ◎	②	追加(第2アク)
	機関庫	キ [°] カンコ		12				②100					②	②, ◎	×
	無秩序	ム [°] ツジヨ						③74 ②100					②, ③	③, ②	
全体	3	○○+○○+○	13	69	2	34	③33 ④25	③84 ④95	6	82					
改訂	現実味	ゲンジツミ		100				④17		46			◎, ⑤, ④	④, ⑤	追加(第1アク)
	人情味	ニンジョーミ		95				③45					◎, ③	③, ◎	昇格
	得点差	ト [°] テンサ		92				③79					③, ◎	③	追加(第2アク)
	先鋭化	センエーカ		91				③4					◎	◎, ③	
	愛読書	アイド [°] シヨ		75				③33					◎, ③	③, ◎	昇格
	洗面所	センメンジョ		72						96			⑤, ◎	◎, ⑤	▽
	1級酒	イクキューシュ		24				③88					③	③, ◎	×
	重要視	ジューヨーシ		12				③100					③	③, ◎	×
	合成酒	ゴーセーシュ		5				③100					③	③, ◎	×
	農学部	ノーカ [°] クブ						③60 ④100					④, ③	③, ④	
	薬学部	ヤクカ [°] クブ						③57 ④95					④, ③	③, ④	
	商学部	ショーカ [°] クブ						③52 ④100					④, ③	③, ④	
	工学部	コーカ [°] クブ						③24 ④100					④, ③	③, ④	

平板型の削除・降格 (6項目)

【～酒】1級酒, 合成酒

【その他】機関庫, 重要視, 洗面所, 駄菓子

「平板型の追加・昇格」のほうが実数として多く、この類型では、全体として平板化に進んでいると言える。

2.3.2 三字漢語（三字めが2拍）

表9で、平板型支持率と中高型支持率の「平均」を見比べてみると、それぞれのパターンにおいて、だいたい前者の数値が後者を上回っている。つまり、平板型の支持率が高くなっている。

表9 三字漢語（三字めが2拍）：203項目

	字数	拍構造	平板型 設問数	平板型 支持率	頭高型 設問数	頭高型 支持率	中高型 設問数	中高型 支持率	尾高型 設問数	尾高型 支持率	2単位形 設問数	2単位形 支持率	『SJT』	『98年版』	『SJT』での 平板型の 扱い (『98年版』と比べて) × = 削除, △ = 降格
全体	3	○+○+○○	16	82	0		218 35	259 359	0						
改訂	自画像	ジカ*ゾー		48				296					2, 3	2, 3	△
	寄付金	キ*キン		100				217 30					3	2, 3, (3)	昇格
	自治会	ジ*カイ		96				260					2, 3	2, 3	昇格
	模擬店	モ*テン		83				250					2, 3	2, 3	昇格
	二次会	ニ*ジカイ		84				244					2, 3	2, 3	昇格
	起訴状	キ*ソジョー		100				240					2, 3	2, 3	昇格
	予備金	ヨ*ビキン		95				236					2, 3	2, 3	昇格
	補佐役	ホ*サヤク		96				229					2, 3	2, 3	昇格
	如意棒	ニョイ*ボー		95				236					2, 3	2, 3	昇格
	猪口オ	チョコザイ		78				239 352					2, 3, 3	2, 3, (3)	昇格
全体	3	○○+○+○○	35	73	2	92	339 45	351 461	1	100	3	60			
改訂	赤痢菌	セ*キリキン		100				34					3	3	
	管理人	カン*リニン		100				38					3	3	
	湿度計	シ*ツドケー		100				39					3	3	
	担保品	タン*ボビン		100				313					3	3	昇格
	検査役	ケン*サヤク		100				332					3	3	追加(第1アク)
	旧字体	キョウ*ジタイ		100				344					3	3	昇格
	密輸品	ミツ*ユビン		96				30					3	3	
	恐怖症	キョウ*フショウ		96				326					3	3	昇格
	温度計	オン*ドケー		96				326					3	3	
	労基法	ロウ*キホー		96				333					3	3	昇格
	監査役	カン*サヤク		96				343					3	3	昇格
	産婆役	サン*バヤク		95				39					3	3	昇格
	有機酸	ユウ*キサン		92				321					3	3	追加(第1アク)
	選挙法	セン*キョホー		92				325					3	3	
	失語症	シツ*ゴ*ショウ		91				322					3	3	
	枢機卿	スー*キョウ		91				341					3	3	追加(第1アク)
	新字体	シン*ジタイ		84				312					3	3	昇格
	細工人	サイ*クニン		84				320					3	3	
	生徒会	セウ*トカイ		82				3100					3	3	追加(第2アク)
	随意筋	ズイ*キン		78				317					3	3	昇格
	逐語訳	シツ*ゴ*ヤク		48				383					3	3	△
	十二月	ジュウ*ニカ*ツ		22						100			5	5	×
	空気銃	クウ*キジュウ		17				392					3	3	×
	絞首刑	コウ*シユ*ケイ		13				3100					3	3	△
	軽気球	ケイ*キキウ		12				388					3	3	×
	超弩級	チョウ*ドキュウ		8		84							1	3	×
	単位数	タン*イス						3100 423					3, 4	4, 3	

	全世界	ゼンセカイ		100		③32					①・③・③	③・①
	現時点	ゲン・ジテン									①・③・③ ①・③73	①・③ ①・③
全体	3	○+○○+○○	39	77	1	50	②43 ③9 ④2	②57 ③79 ④56				
改訂	遺留品	イリユーヒン	100					②0			◎	◎・②
	花粉症	カフンショー	100					②0			◎	◎・(②)
	義援金	ギエンキン	100					②0			◎	◎・②
	記念品	キネンヒン	100					②0			◎	◎・②
	不妊症	フニンショー	100					②4			◎	◎・②
	肥満症	ヒマンショー	100					②4			◎	② 追加(第1アク)
	自閉症	ジヘーショー	100					②8			◎	◎・②
	依頼状	イライジョー	100					②9			◎	◎・②
	取水口	シュスイコー	100					②44			◎・②	②・◎ 昇格
	租税法	ソゼーホー	100					②52			◎・②	②・◎ 昇格
	指南役	シナンヤク	96					②39			◎・②	② 追加(第1アク)
	護衛艦	ゴエーカン	96					②52			◎・②	② 追加(第1アク)
	磁力計	ジリョウキ	92					③4			◎	◎・③
	機関砲	キカンホー	91					②45			◎・②	②・◎ 昇格
	未定稿	ミテークー	91					②57			◎・②	②・◎ 昇格
	技芸品	ギゲートーヒン	88					②16			◎	②・◎ 昇格
	自然法	シゼンホー	88					②24			◎	②・◎ 昇格
	師範代	シハundai	88					②54			◎・②	②・◎ 昇格
	社会法	シャカイホー	86					②68			②・◎	② 追加(第2アク)
	自衛艦	ジエーカン	84					②68			◎・②	②・◎ 昇格
	社内報	シャナイホー	71					②90			②・◎	② 追加(第2アク)
	時間外	ジカンガイ	71					②96			②・◎	②・◎ ヽ
	謝恩会	シャオンカイ	57					②100			②・◎	② 追加(第2アク)
	紀行文	キコウブン	50					②88			②・◎	◎・② ヽ
	御足労	ゴソクロー	38					②79 ③92			②・③・◎	②・◎・③ ヽ
	無定形	ムテークー	21					②88			②	◎・② ×
	無頼漢	ブライカン	21					②92			②・◎	◎・② ヽ
	有頂天	ウチョーテン	0					②100			②	②・◎ ×
	二三日	ニサンニチ				50		②83			②・①	①・②
全体	3	○○+○○+○○	68	79	7	63	③86 ④38 ⑤4	③54 ④72 ⑤71	2	37	5	96
改訂	贈答品	ゾートーヒン	100					③0			◎	◎・③
	仲裁人	チュウサイニン	100					③0			◎	◎・③
	有名品	ユウメイヒン	100					③0			◎	◎・③
	供託金	キョータウキン	100					③0 ④0			◎	◎・④・(③)
	契約金	ケイヤウキン	100					③0 ④0			◎	◎・④・(③)
	携帯品	ケータイヒン	100					③4			◎	◎・③
	重病人	ジュウビョーニン	100					③4			◎	◎・③
	一級品	イツキューヒン	100					③5			◎	◎・③
	合併症	ガッパショー	100					③8			◎	◎・③
	後半戦	コウハンセン	100					③13			◎	◎・③
	平均台	ヘーキンダイ	100					③13			◎	◎・③
	椎間板	ツイカンバン	100					③16			◎	③・◎ 昇格
	神経症	シンケーショー	100					③20			◎	③・◎ 昇格
	国内法	コクナイホー	100					③36			◎・③	③・◎ 昇格
	鑑定人	カンテーニン	96					③0			◎	◎・③
	急病人	キュービョーニン	96					③8			◎	◎・③
	相談役	ソウダンヤク	96					③22			◎	◎・③
	行政法	ギョーセーホー	96					③25			◎・③	③・◎ 昇格
	緑内障	リョクナイショー	96					③25			◎・③	③・◎ 昇格
	血判状	ケツバンジョー	96					③26			◎	◎・③
	括約筋	カツヤウキン	96					③28 ④36			◎・④	③・④・◎ 昇格
	天王星	テンノーセー	96					③61			③・◎	③ 追加(第2アク)
	催促状	サイソクジョー	92					③13 ④13			◎・④	④・◎・③ 昇格
	有毒菌	ユードキン	92					③25 ④29			(項目削除)	④・③・◎

玄関番	ゲンカンバン	91		③30		◎,③	③	追加(第1アケ)
健忘症	ケンボーショー	88		③4		◎	③,◎	昇格
官給品	カンキュービン	88		③12		◎	◎,③	
海王星	カイオーセー	88		③24		◎,③	③,◎	昇格
冥王星	メイオーセー	88		③32		◎,③	③,◎	昇格
十進法	ジッシンホー	88		③64		◎,③	③,◎	昇格
配管工	ハイカンコー	88		③79		◎,③	◎	
憂鬱症	ユーウツショー	88		③17 ④17		◎,④	④,◎,(③)	昇格
今月分	コンゲツツブ	87		④65		◎,④	④,◎	昇格
口内炎	コーナイエン	86		③55		◎,③	③,◎	昇格
十進法	ジッシンホー	83		③50		◎,③	③,◎	昇格
弁膜症	ベンマツクショー	82		③23 ④32		◎,④	④,◎,(③)	昇格
大病人	タイビョーニン	80		③12		(項目削除)	③,◎	
敗血症	ハイケツクショー	80		③56 ④36		◎,④,③	④,◎,(③)	昇格
拘引状	コウインジョー	78		③9		◎,③	③,◎	昇格
大罪人	ダイザイニン	74		③48		◎,③	③,◎	昇格
双曲線	ソーキョクセン	64		③91		③,◎	◎,③	↘
選球眼	センキューガン	26		③100		③	③,◎	×
西洋館	セーヨーカン	20		③92		③,◎	◎,③	↘
音楽会	オンカクカク	13		③100		③	③,◎	×
決勝戦	ケッショウセン	13		③100		③	③,◎	×
三十銭	サンジッセン	9	52	③96		③,①	①,③	
弾道弾	ダンドーダン	8		③84		③	③,◎	×
張本人	チョーホンニン	0		③100		③	③,◎	×
反体制	ハンタイセイ			③24	88	①,◎,③	③	
大神宮	ダイジンク	9		③59 ⑤82		⑤,③	⑤,③,(①)	
同県人	ドーキョジン			③96 ⑤25		③,⑤	⑤,③	
三国一	サンコクイチ	48	22	④26		④,⑥, ①,⑥	④,⑥	
金一封	キン(一)イッブ	96			100	①,◎	①,①,◎	
半永久	ハン(一)エーキュー	96			96	①,◎	①,①,◎	
第一報	ダイ(一)イッポ	41			100	①,◎	①,①,◎	
刻一刻	コク(一)イッコク	100			96	①,◎, ①,⑥	①,①,◎	

平板型を追加,あるいは昇格させた項目と,
その反対に削除・降格させた項目を拾って整
理してみると,次のようになる。ここでもや
はり,全体として平板化に進んでいると言える。

平板型の追加・昇格 (56項目)

- 【～会】自治会, 謝恩会, 生徒会, 二次会
- 【～艦】護衛艦, 自衛艦
- 【～金】寄付金, 予備金
- 【～筋】括約筋, 随意筋
- 【～症】恐怖症, 健忘症, 神経症, 敗血症,
肥満症, 弁膜症, 憂鬱症
- 【～状】起訴状, 拘引状, 催促状
- 【～星】海王星, 天王星, 冥王星
- 【～体】旧字体, 新字体
- 【～品】技芸品, 担保品

【～法】行政法, 国内法, 自然法, 十進法(じっ
しんほう), 社会法, 十進法(じゅう
しんほう), 租税法, 労基法

【～役】監査役, 検査役, 産婆役, 指南役,
補佐役

【その他】機関砲, 玄関番, 口内炎, 今月分,
師範代, 社内報, 取水口, 枢機卿,
大罪人, 猪口才, 椎間板, 如意棒,
未定稿, 模擬店, 有機酸, 緑内障

平板型の削除・降格 (20項目)

有頂天, 音楽会, 紀行文, 空気銃, 軽気球,
決勝戦, 絞首刑, 御足労, 自画像, 時間外,
十二月, 西洋館, 選球眼, 双曲線, 弾道弾,
逐語訳, 超弩級, 張本人, 無頼漢, 無定形

3. 年代差

第2回調査の結果を、ベテラン層(45歳以上)・中堅層(35～44歳)・若年層(23～34歳)ごとに集計してみると、年代差のある項目がいくつか得られる。このうち、ベテラン層と若年

層の結果の差が50%以上になるものを拾い上げて型別にまとめたのが表10・11である。また、このうちいくつかの項目の年代差をグラフにしたものが図1～6である。

表10(若年層での支持率のほうがベテラン層よりも大きいもの)と表11(ベテラン層での

表10 若年層で支持率の高い項目

【若年層での支持率が、ベテラン層よりも、50%以上大きいもの】

○	平板	念(感謝の～)◎(40, 33, 90)	1件
	起伏	略②(25, 88, 91)	1件
○+○	平板		
	起伏		
○○+○	平板	堆肥◎(0, 100, 100), 訓論◎(40, 86, 100), 内裏◎(50, 78, 100), 教示◎(40, 75, 100), 牧師◎(25, 89, 89), 還付◎(20, 57, 100), 鉄器◎(0, 78, 70), 言質◎(0, 22, 50)	8件
	起伏	察知①(50, 100, 100), 実意①(50, 89, 100), 蔑視①(50, 88, 100)	3件
○+○○	平板	賜杯◎(0, 50, 50), 書籍◎(50, 100, 100), 巨悪◎(20, 56, 80), 舞曲◎(0, 38, 70)	4件
	起伏	汚物①(50, 100, 100), 施設①(50, 100, 100), 保育①(50, 89, 100), 種別①(33, 89, 90), 機械①(33, 67, 86), 加法①(17, 63, 67), 指導①(0, 44, 60)	7件
○○+○○	平板	強弁◎(33, 89, 86), 脊椎◎(25, 56, 78), 原論◎(40, 71, 100), 道楽◎(50, 67, 100), 学術◎(50, 56, 100), 乳液◎(40, 67, 90), 性分◎(20, 75, 90), 迫力◎(40, 56, 91), 冷淡◎(25, 50, 82), 損金◎(20, 63, 70), 立身◎(20, 44, 70), 石英◎(0, 38, 73), 十月(～は)◎(0, 22, 50)	13件
	起伏	各界①(20, 63, 73), 台帳①(0, 56, 70), 鞆帯①(17, 88, 80), 欄外①(20, 67, 90), 一名(別の呼び名)②(0, 33, 50), 脊椎③(25, 100, 100), 巾着③(17, 88, 67)	7件
三字漢語	平板	日本史◎(40, 88, 91), 試写会◎(20, 100, 91), 指揮棒◎(33, 89, 100), 風呂銭◎(40, 56, 90), 免許証◎(0, 78, 73), 消火剤◎(0, 56, 50), 謝恩会◎(0, 78, 50)	7件
	起伏	愛読書③(0, 33, 50), 引用書⑤(50, 78, 100), 猪口才②(0, 44, 50), 労基法③(0, 25, 55), 租税法②(25, 33, 80), 取水口②(0, 56, 55), 十進法(じっしんほう)③(17, 78, 80), 独眼竜③(0, 56, 56), 垂直線④(33, 75, 100), 反体制[1-0](50, 100, 100)	10件

例 「念」:平板型の支持率が、ベテラン層40%, 中堅層が33%, 若年層が90%

表11 ベテラン層で支持率の高い項目

【ベテラン層での支持率が、若年層よりも、50%以上大きいもの】

○	平板		
	起伏	略①(100, 13, 27), 性(～が悪い)①(80, 78, 30)	2件
○+○	平板		
	起伏	護摩①(100, 44, 40), 皮下①(100, 100, 50), 餓鬼①(100, 89, 50), 不治(ふち)②(100, 67, 36)	4件
○○+○	平板	特需◎(60, 11, 10), 日舞◎(50, 0, 0), 内規◎(83, 75, 30), 満期◎(50, 56, 0), 特化◎(100, 22, 20), 喫茶◎(50, 33, 0), 高炉◎(80, 44, 30)	7件
	起伏	献辞①(100, 63, 50), 拝辞①(83, 67, 30), 懸死①(80, 75, 20), 田地①(100, 33, 50), 鈍化①(60, 11, 9), 給付①(100, 63, 50), 興味③(50, 0, 0)	7件
○+○○	平板	祈願◎(50, 0, 0), 奇跡◎(67, 0, 0), 保育◎(83, 33, 30)	3件
	起伏	起業①(67, 13, 10), 師弟②(100, 75, 40), 右脳①(100, 38, 36), 書籍①(100, 78, 50), 社名①(83, 50, 30), 夫妻②(80, 33, 30), 府庁②(60, 33, 9)	7件
○○+○○	平板	羊水◎(100, 56, 14), 風水◎(75, 13, 18), 高弟◎(100, 56, 50), 一名(別の呼び名)◎(100, 44, 40)	4件
	起伏	風体(ふうたい)①(100, 67, 20), 選外①(100, 78, 50), 院生①(100, 71, 40), 法外①(80, 11, 20), 迫力②(80, 78, 27), 制限②(75, 67, 20), 一銭③(100, 33, 10), 濁点③(100, 78, 50), 毛氈(もうせん)③(60, 22, 10)	9件
三字漢語	平板		
	起伏	日本史②(60, 75, 0), 始末書③(60, 44, 10), 二次会②(83, 33, 30), 補佐役②(60, 50, 0), 風呂銭②(80, 11, 10), 如意棒②(80, 14, 30), 監査役③(75, 56, 20), 枢機卿③(80, 29, 30), 換気口③(100, 67, 0), 失語症③(50, 33, 0), 曲射砲③(67, 38, 10), 夜光虫②(100, 100, 40), 三十銭(さんじっせん)①(80, 63, 30), 三国一①(80, 63, 20), 大罪人③(75, 67, 20), 反体制③(67, 11, 10), 海道一⑥(100, 50, 30)	17件

図1 「書籍」

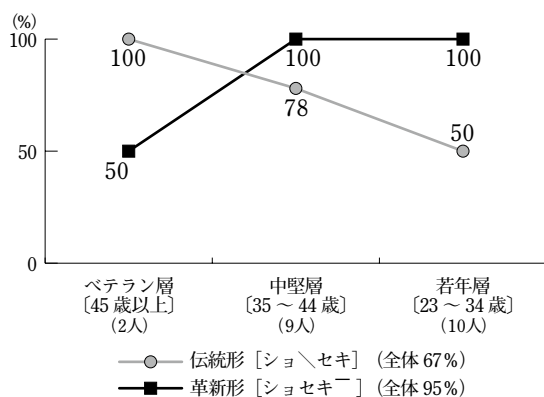


図2 「迫力」

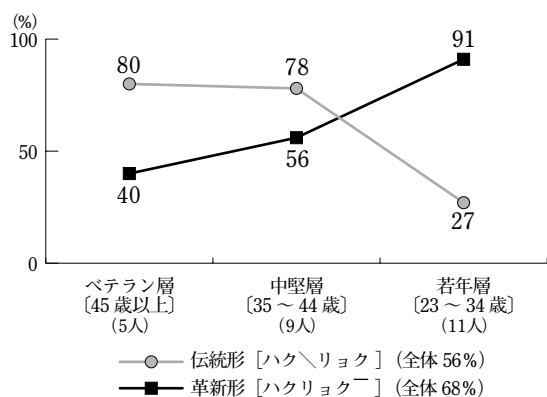


図3 「日本史」

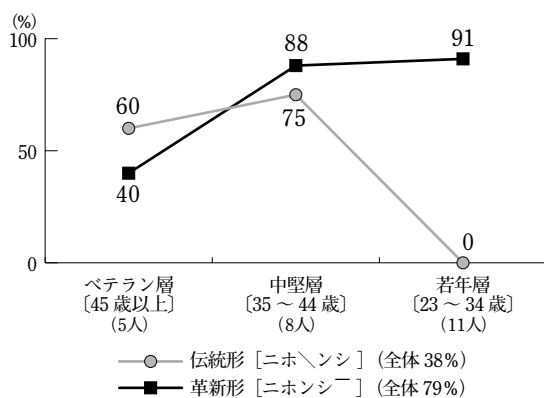


図4 「試写会」

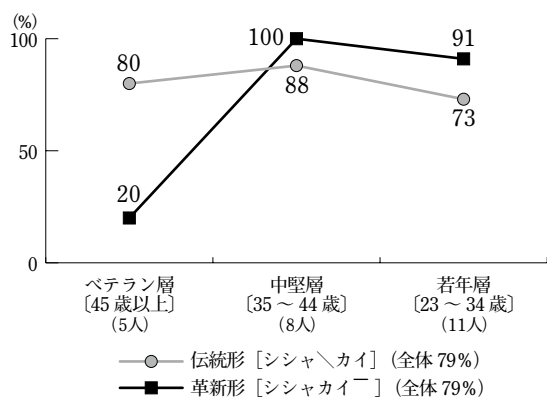


図5 「二次会」

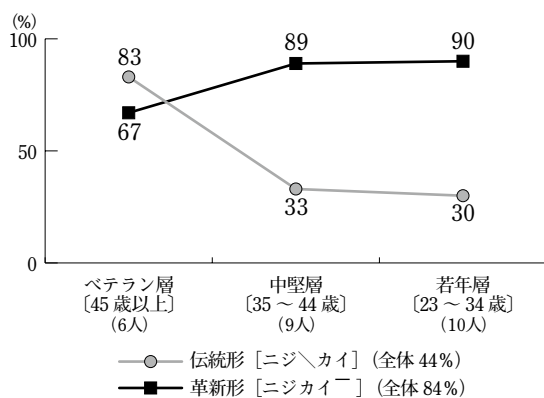
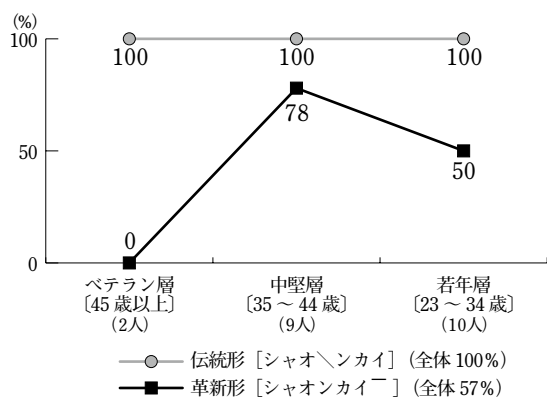


図6 「謝恩会」



支持率のほうが大きいもの)では、特に「二字漢語[○○+○○]」および「三字漢語」の類型において、世代による顕著な違いが見られる。

まず[○○+○○]においては、若年層で「強弁◎、脊椎◎、原論◎、道楽◎、学術◎、乳液◎、性分◎、迫力◎、冷淡◎、損金◎、立身◎、石英◎、十月(～は)◎」といった平板式(計13件)が著しく支持されている。一方、ベテラン層では「風体(ふうたい)①、選外①、院生①、法外①、迫力②、刻限②、一銭③、濁点③、毛氈(もうせん)③」といった起伏式(計9件)の支持率が非常に高い。

また三字漢語では、若年層で「日本史◎、試写会◎、指揮棒◎、風呂銭◎、免許証◎、消火剤◎、謝恩会◎」といった平板式(計7件)への支持率が高く、ベテラン層では「日本史②、始末書③、二次会②、補佐役②、風呂銭②、如意棒②、監査役③、枢機卿③、換気口③、失語症③、曲射砲③、夜光虫②、三十銭(さんじっせん)①、三国一①、大罪人③、反体制③、海道一⑥」といった起伏式(計17件)の支持率が高い。

つまり、「二字漢語[○○+○○]」および「三字漢語」に関して、若年層での「平板化」の動きが明瞭に観察される。

4. まとめにかえて

これまで述べてきたことをひとまずせき止めてみると、このように言えるかもしれない。

★二字・三字漢語のアクセントに関して
【二字漢語】

▼1拍+1拍 [○+○]

全体として頭高型を指向しており、またその傾向を強めつつある。

▼2拍+1拍 [○○+○]

全体として頭高型を指向しているが、アクセントの変化が進行中の語には頭高に向かうものと平板に向かうものがあり、総体としての把握が困難である。

▼1拍+2拍 [○+○○]

全体として平板型を指向しているが、アクセントの変化が進行中の語には頭高に向かうものと平板に向かうものがあり、総体としての把握が困難である。

▼2拍+2拍 [○○+○○]

全体として平板型を指向しているが、アクセントの変化が進行中の語には頭高に向かうものと平板に向かうものがある。ただし若年層では平板型の支持率が高い語群があり、総体としてはゆるやかに平板化しつつある。

【三字漢語】

もともとは起伏式のものが多かったのだが、一部の語に平板化の動きがある。

本稿の冒頭で示した「装荷」は[○○+○]という構造であり、全体の傾向に従えばアクセントは頭高型として発音される可能性が高いのであるが、一方で語ごとに異なるところもあり、やはり把握が困難なのである。
(しおだ たけひろ)

注：

- 1)『日本国語大辞典 第二版』および『小学館日本語新辞典』の「装荷」の項では、平板型と頭高型の2つのアクセントが示されている。なお試みに、国会審議映像検索システム[<http://gclip1.grips.ac.jp/video/>]を用いて(松田謙次郎(2016))、音声と映像が公開されているここ6年ほどの国会審議を対象に「装荷」を検索してみたところ、計32件の発言例が得られた。内訳は、平板型[ソーカ]での発音が16件、頭高型[ソ\ーカ]での発音が8件、「装荷量」「燃料装荷」などの複合語の一部での使用が7件、文字起こしと実際の音声の不一致が1件であった。

た。おおむね、国会議員の発言には頭高型が多い一方、原子力の専門家として招致された参考人の発言では平板型がほとんどであった。

- 2) 第2回アナウンサーアクセント調査の概要については、塩田雄大(2010)(2011)(2013)(2016)、太田眞希恵・東美奈子(2016) 参照。

引用文献：

- ・秋永一枝(2010)『『明解日本語アクセント辞典』作成のプロセス』『(新)明解日本語アクセント辞典』からの報告』アクセント史資料研究会
- ・太田眞希恵・東美奈子(2016)「NHKアクセント辞典“新辞典”への大改訂① 18年ぶりの改訂で誕生『NHK日本語発音アクセント新辞典』～アクセント記号や見出しの立て方も一新～」『放送研究と調査』66-7 [http://www.nhk.or.jp/bunken/research/kotoba/20160701_10.html]
- ・OGAWA, Shinji (2004) “Sino-Japanese Word Accent and Syllable Structure” 『音韻研究』7
- ・OGAWA, Shinji (2008) “Accentual Asymmetry in Trimoraic Sino-Japanese Words” Asymmetries in Phonology: An East-Asian Perspective (くろしお出版)
- ・小川晋史(2010)「日本語の諸方言における二字漢語のアクセント ―単純語と複合語の狭間で―」『漢語の言語学』くろしお出版
- ・奥村三雄(1961)「漢語のアクセント」『国語国文』30-1 [徳川宗賢編(1980)『論集 日本語研究2 アクセント』に再収録]
- ・柄沢衛(1983)「選挙演説とアクセント」『言語生活』381
- ・金田一春彦(1943)「標準アクセント習得の方法」『国語文化』3-12
- ・胡世光(1998)「漢語アクセント規則の再編成 ―「モーラ」から「字」へ―」『東京大学言語学論集』17
- ・坂本充(1998)「漢語アクセントのツークツ(総括)はナヅンギ(難儀)である ―アナウンサーアクセント調査報告④「漢語」～」『放送研究と調査』48-11
- ・坂本充(1999)「アクセント辞典にみる拍数別、語種別のアクセント分布」(『日本語発音アクセント辞典』～改訂の系譜と音韻構造の考察～) 稿内)『NHK放送文化調査研究年報』44
- ・塩田雄大(2010)「全国アナウンサー音声調査の結果報告 ―アクセント辞典改訂専門委員会(第4回)から～」『放送研究と調査』60-5 [<http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/research/kotoba/022.html>]
- ・塩田雄大(2011)「『NHK日本語発音アクセント辞典』改訂調査結果にもとづく作業方針の検討 ―アクセント辞典改訂専門委員会(第5回)から～」『放送研究と調査』61-3 [<http://www.nhk.or.jp/bunken/summary/kotoba/research/029.html>]
- ・塩田雄大(2013)「NHKアナウンサーのアクセントの現在 ―複合動詞を中心に―」『現代日本語の動態研究』おうふう
- ・塩田雄大(2016)「NHKアクセント辞典“新辞典”への大改訂 ② 動詞・形容詞のアクセントをめぐる現況 ―進む一型化～」『放送研究と調査』66-8 [http://www.nhk.or.jp/bunken/research/kotoba/20160801_4.html]
- ・松田謙次郎(2016)「国会審議映像検索システムの社会言語学的应用について」『社会言語科学会 第38回大会発表論文集』
- ・三井はるみ(1986)「東京語における3拍漢語のアクセント変化」『国語学研究』26
- ・三宅武郎(1941)「漢語動詞のアクセント 単語形成とアクセント法則 (十一)」『コトバ』3-9